D

ルート

HS310D-A
HS310D-W
HS310-A
HS310-W

ルート

ルート設定について……………………………D-2
ルート探索について………………………D-3
細街路探索について………………………D-4
ルート設定の流れ………………………………D-4
1ルート探索をする……………………………D-6
複数ルートを探索する…………………………D-9
ルートを変更する………………………………D-10
出発地／目的地の変更……………………D-10
目的地の追加………………………………D-12
経由地の追加………………………………D-13
経由地の変更／削除………………………D-15
経由地／目的地など地点の入れ替え……D-15
探索条件の変更……………………………D-16
現在のルートを全表示する……………………D-17
渋滞地点を確認する……………………………D-18
渋滞予測ルート探索をする……………………D-19
シミュレーション走行をする…………………D-21
ルート案内をストップ／スタートする………D-22
迂回探索をする…………………………………D-23
現在のルートを保存する………………………D-24
現在のルートを削除する………………………D-24
保存したルートの呼び出しをする……………D-25
保存したルートの削除をする…………………D-26
SDカードからルート探索をする………………D-27
再探索をする……………………………………D-29

ルート設定について(1)

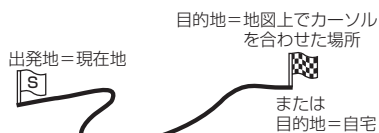
HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

ルート設定をすると、本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。(この画面をルート案内画面と呼びます。)このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

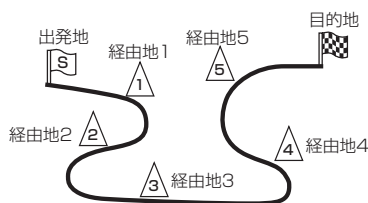
ルート案内画面

ルート設定は、主に下記の方法で行ないます。また、探索条件設定をすることができます。

クイックルート(Quick機能)探索 B-29

- カーソル(-¦-)を目的地に合わせ **設定** をタッチし、設定メニューを表示させ **目的地に設定する** をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。
  「現在地から目的地までのルートを探索する」B-29
- 現在地表示時に、 **Quick** をタッチし、Quick MENUを表示させ **自宅** をタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。
  「現在地から自宅までのルートを探索する」B-30

ルート **から1ルート探索・複数ルート探索**
D-4

- **ルート編集** から好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、5通りのルートを同時に探索します。表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として登録できます。(5か所まで)

※経由地を設定すると複数探索はできません。

目的地 **から探索方法を選択してルート探索** C-1

住所／電話番号／施設名称／ジャンル／郵便番号など、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

NAVI設定 **から探索条件を設定** F-45

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

アドバイス

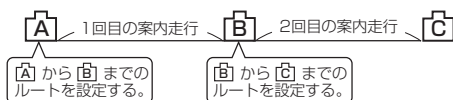
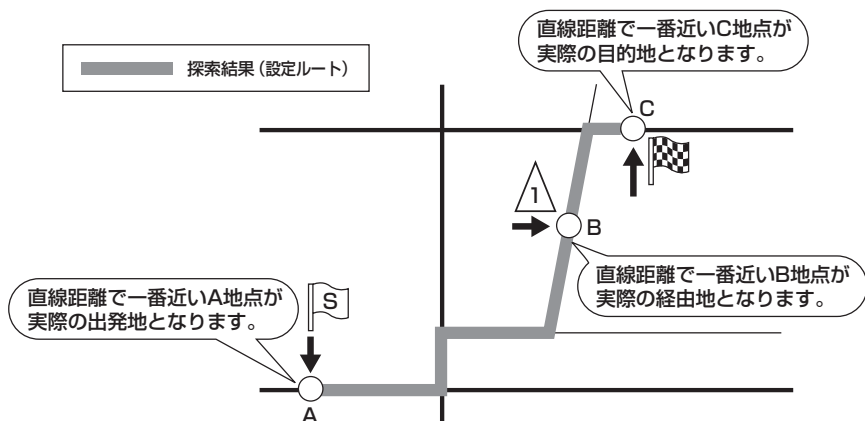
ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

⚠注意 交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

ルート探索について

画面の流れ (例) ルート から探索した場合

- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルート探索ができません”などと表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容(出発地／経由地／目的地)を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

例えば、A地点からC地点に行く場合、
①A地点からB地点までのルートを設定して、B地点まで行く。
②B地点からC地点までのルートを設定して、C地点まで行く。
というのも、1つの方法です。

- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないますが、地図上の全ての道路(場所)にこのデータがあるわけではありません。
出発地(S)／経由地(1)／目的地(旗)を登録した地点から直線距離で一番近い地点がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。
ただし規制等があって道路が通れない場合、出発地(S)／経由地(1)／目的地(旗)を登録した道路を通るルートになるとは限りません。

※有料道路(高速道路、都市高速道路を含む。)と一般道路が接近している地点に登録した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

ルート 〔ルート設定について〕

ルート設定について(2)

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のキースイッチを「OFF」に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。

細街路探索について

細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

※市街地図の収録エリアおよび細街路探索エリアにつきましては、 H-18をご覧ください。

ルート設定の流れ(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

■ 目的地 から探索する場合

目的地を登録する

↓

探索実行

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

↓

ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」D-22にしたがって操作してください。

ルート設定の流れ(2)

■ ルート から探索する場合

目的地を登録する

出発地を登録する — 現在地以外の場所を出発地にする場合は、登録が必要です。

経由地を登録する — 途中に寄りたい場所や通りたい場所(道)がある場合に登録します。(5か所まで)

探索条件を選択する

- 自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 のどれか１つを選択。
- 軽自動車 ／ 普通車 ／ 中型車 ／ 大型車 ／ 特大車 のどれか１つを選択。
- 自動再探索／フェリーを優先／季節規制考慮／時間規制道路を考慮／スマートICを利用／ルート学習結果を利用／VICS自動再探索／VICS情報を考慮／統計交通情報を考慮をルート探索時に設定する場合は する を選択する。
- 探索開始 (ルートを１つ探索する)か 複数探索 (参考ルートを5つ探索して、好きなルートを選ぶ)のどちらかを選択。
  ※経由地が設定されている場合は 複数探索 は選択できません。

探索実行 — 登録した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

ルート案内開始 — ※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」D-22にしたがって操作してください。

アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地／経由地／目的地を登録すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 有料道路上に登録する場合は 有料道路 を、一般道路上に登録する場合は 一般道路 を選択し、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので 有料道路 ／ 一般道路 を選択してください。
- ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。

⚠注意 交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 ルート探索をする(1)

1 メニュー を押す。

2 目的地 または ルート を選択する。

■ 目的地画面から選択する場合

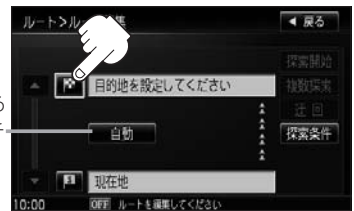
① 目的地 をタッチし、検索方法を選択してタッチする。

■ ルートから選択する場合

① ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

② [旗] をタッチする。

探索条件を変更する場合はここをタッチ
☞ D-16

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示させます。

- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 経由地付近 ：経由地の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示
- 自宅 ☞ C–2
- 電話番号 ☞ C–3
- 住所 ☞ C–5
- 登録地 ☞ C–8
- 施設名称 ☞ C–10
- ジャンル ☞ C–14
- 目的地履歴 ☞ C–20
- 周辺施設 ☞ C–22
- SD登録地 ☞ C–25
- マップコード ☞ C–27
- 地図 ☞ C–28
- 市町村名称 ☞ C–29
- 郵便番号 ☞ C–31
- 緯度経度 ☞ C–32

3 目的地を設定する。

■ 表示された目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定メニューを表示させ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

① 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

② カーソルを目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

微調整 ボタン
☞ B-15

④ 目的地に設定する をタッチする。

：● 目的地 から探索した場合、目的地にゴールマーク(🏁)が表示された後、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

● ルート から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。探索開始 をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

1 ルート探索をする(2)

4 **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

ルート全表示画面

ルート案内画面

アドバイス

- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。 「平均速度を設定する」F–44
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 探索条件を変更する場合は、 「ルート探索条件の設定をする」F–45をご覧ください。
- F–9のルート案内設定で"全ルートの表示"を **する** に設定している場合、上記手順 **4** で **別ルート** が表示されます。 **別ルート** をタッチすると、複数ルート探索を開始します。
  「複数ルートを探索する」D–9
- 上記手順 **4** で **詳細情報** をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
  「現在のルートを全表示する」D–17

複数ルートを探索する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

ルート設定した後、表示されたルートの中から("自動" "有料優先" "一般優先" "距離優先" "道幅優先")お好みのルート案内を開始することができます。
※複数ルート探索はトップメニューの ルート ボタンより操作します。

1 **メニュー を押す。**

2 **ルート ➡ ルート編集 をタッチする。**

：ルート編集画面が表示されます。

3 **複数探索 をタッチする。**

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

アドバイス

複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。経由地を設定した場合、"複数探索" はできません。

4 **探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先)をタッチしてルートを確認する。**

：有料道路は青、一般道路は黄色／ピンクで表示されます。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)

このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
☞「現在のルートを全表示する」D-17

5 **案内スタート をタッチする。**

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  ☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-13
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。☞「平均速度を設定する」F-44
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替えなどは手順 3 で "複数探索" をタッチする前に設定できます。☞「ルートを変更する」D-10
- 探索条件については☞「(探索条件の変更)」D-16／「ルート探索条件の設定をする」F-45をご覧ください。
- 自動 を選択した場合、推奨のルートを探索した結果が表示されます。

ルートを変更する(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。
出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

1 メニュー を押す。

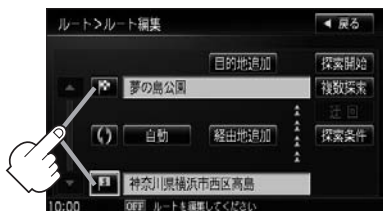
2 ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

出発地／目的地の変更

出発地や目的地を変更することができます。

3 S または 🏁 をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

4 変更 をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。

5 表示されたメニューの中から、出発地または目的地を探す方法を選択してタッチする。

☞ D-6

：周辺の地図を表示します。

6 出発地または目的地を設定する。

■ 表示された出発地または目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定メニューを表示させ 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された出発地または目的地で良い場合

① 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、出発地または目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

設定メニューの 周辺の施設検索 をタッチして出発地を探すこともできます。（☞ C-23手順 5 から）

② カーソルを目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

微調整 ボタン ☞ B-15

④ 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

：ルート編集画面に戻ります。

ルート
〔ルートを変更する〕

ルートを変更する(2)

7 ルート探索を開始する場合は、 探索開始 ／ 複数探索 を選択しタッチする。

■ 探索開始 を選択した場合

：ルート探索が完了し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

■ 複数探索 を選択した場合

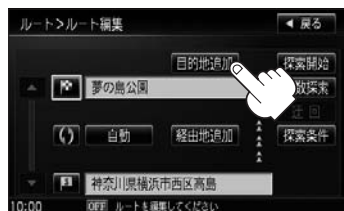
：ルート探索が完了すると、5つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

アドバイス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、 複数探索 は選択できません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。「平均速度を設定する」F-44
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

1 D-10手順 1 、 2 にしたがって操作し、 目的地追加 をタッチする。

2 新しい目的地を登録する。

新しい目的地の登録のしかたはD-6手順 2 、 3 にしたがって操作する。

：目的地を追加し、ルート編集画面に戻ります。

3 ルート探索を開始する。

※ルート探索を開始するには、D-12手順 7 にしたがって操作してください。

経由地の追加

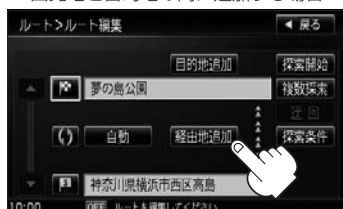
経由地を追加することができます。追加方法は、ルート編集画面または目的地画面から設定できます。

1 追加方法を選択する。

■ ルート編集画面から追加する場合

出発地と目的地の間に追加する場合

① D–10手順 1 、 2 にしたがって操作し、追加する場所の 経由地追加 をタッチする。

：経由地設定画面が表示されます。

② 表示されたメニューの中から、経由地を探す方法を選択し、タッチする。

☞ D–6

：周辺の地図を表示します。

■ ルート案内中に目的地画面から追加する場合

① メニュー を押す。

：目的地設定画面が表示されます。

② 目的地 をタッチし、表示されたメニューの中から検索方法を選択し、タッチする。

☞ D–6

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させてください。
☞「地図スクロール(地図を動かす)」B–13

ルートを変更する(3)

2 経由地を設定する。

■ 表示された経由地で良い場合

① 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、 経由地に設定する ／ 経由地を追加する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合

① 経由地に設定する ／ 経由地を追加する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、
経由地に設定する ／ 経由地を追加する をタッチする。

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

※ルート編集画面が表示された場合はD–12手順 7 へ、経由地追加画面が表示された場合は下記手順 3 へ進んでください。

3 追加する場所の 追加 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は5か所まで登録できます。また、すでに通過した区間には経由地を登録することはできません。
- 地図画面または 目的地 から経由地を追加する場合、ルート案内を停止していると 経由地を追加する は表示されません。

経由地の変更／削除

経由地を変更または削除することができます。

1 D-10手順 **1** 、 **2** にしたがって操作し、変更／削除する経由地の [1] をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１を選んだ場合

2 変更または削除する。

■ 変更する場合

① 変更 をタッチし、新しい経由地を設定する。

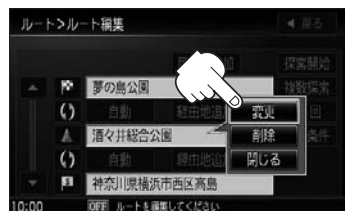
設定方法につきましては、「経由地の追加」D-13を参考にしてください。

■ 削除する場合

① 削除 をタッチする。

：地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。

アドバイス

変更または削除の操作を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。

経由地／目的地など地点の入れ替え

地点の入れ替えをすることができます。

1 D-10手順 **1** 、 **2** にしたがって操作し、入れ替えしたい場所の [↺] をタッチする。

経由地１と目的地を入れ替える場合

アドバイス

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

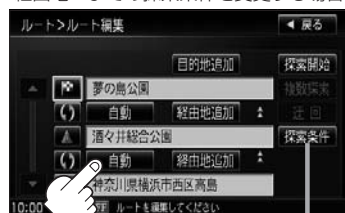
ルートを変更する(4)

探索条件の変更

探索条件を変更することができます。

1 **D-10手順 1 、 2 にしたがって操作し、変更する場所の 自動 をタッチする。**

：吹き出しが表示されます。

経由地１までの探索条件を変更する場合

探索条件 をタッチして探索条件の変更をすることもできます。

「ルート探索条件の設定をする」F-45

---

2 **探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先)を選択し、タッチする。**

※探索条件の変更を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。

設定できる探索条件

- 自動 ：推奨のルートを自動的に探索します。
- 有料優先 ：高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。
- 一般優先 ：国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。
- 距離優先 ：走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。
- 道幅優先 ：なるべく道幅が広いところを優先的に探索します。

アドバイス

- 距離優先 を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

現在のルートを全表示する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

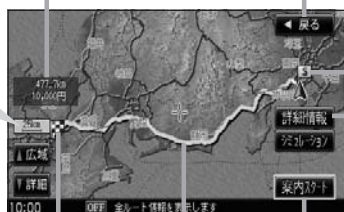
設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート全表示 をタッチする。

：ルート全表示画面が表示されます。

現在地から目的地までのおおよその距離(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。

目的地

設定ルート

戻る をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

出発地

詳細情報 をタッチすると、設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。☞ D-8

アドバイス

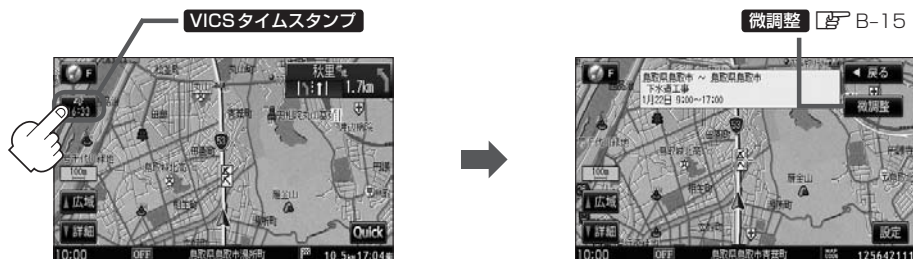
- 3Dビューのときでも、ルート全表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。☞「地図スクロール(地図を動かす)」B–13
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。(実際の料金と異なる場合があります。)
- シミュレーション走行(☞ D–21)、ルート情報(☞ F–12)、音声案内(☞ A–16)など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(黄色／ピンク)を選ぶことができます。
  ※どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
  ☞「■ ルート色の設定をする場合 」F–10

渋滞地点を確認する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面で VICSタイムスタンプ をタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。

2 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

- ルート上に渋滞／規制がない場合、 VICSタイムスタンプ をタッチしても地点は表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方10km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENUに 渋滞地点 ボタンを登録すると、 Quick ➡ 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
  「Quick MENUの設定をする」B–23
- ルート案内を停止している場合、 VICSタイムスタンプ は選択できません。
  また、FM多重の番組設定を“ 一般情報番組を受信します ”に設定している場合も選択できません。
  （一般情報スタンプ（“FM一般”）表示時）
  「ルート案内をストップ／スタートする」D–22
  「受信する情報を選ぶ」E–12

渋滞予測ルート探索をする(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

本機に収録されている過去の渋滞統計データをもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。表示された参考ルートの中から出発時刻("現在時刻" "指定日時" "30分後" "1時間後" "予測なし")によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ 渋滞予測回避 をタッチする。

：渋滞予測回避画面が表示されます。

3 設定したい項目(現在時刻探索 ／ 日時指定探索)をタッチする。

■ 現在時刻探索 を選択した場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① 現在時刻 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし ／ カレンダー をタッチしてルートを確認する。

現在時刻 ……出発時刻を現在の時刻で設定する。

30分後 ……出発時刻を現時刻の30分後で設定する。

1時間後 ……出発時刻を現時刻の1時間後で設定する。

予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

カレンダー ‥出発日時をお好みに設定できる。
※設定の方法は下記の「■ 日時指定探索を選択した場合」を参考にしてください。

詳細情報 ☞D-17

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

■ 日時指定探索 を選択した場合

：日付指定画面が表示されます。

① 日付を選択し、タッチする。

：時刻指定画面が表示されます。

ここをタッチするとカレンダー送りができます。(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。 前月 は暗くなります。)

ルート 〔渋滞地点を確認する〕／〔渋滞予測ルート探索をする〕

渋滞予測ルート探索をする(2)

② 数字をタッチして時間を入力し、 探索 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

※時間は24時間制の15分単位で入力します。

数字入力時、選べない数字は暗くなります。

③ 指定日時 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし をタッチしてルートを確認する。

指定日時 ……日付指定探索で設定した出発時刻とする。

30分後 ………日付指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。

1時間後 ……日付指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。

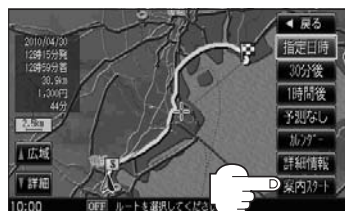
予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。）

カレンダー をタッチすると、D-19手順①からの操作となります。

詳細情報 D-17

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- 到着予想時刻は指定した時刻によって異なります。
- 日付指定画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  「地図スクロール(地図を動かす)」B-13
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く登録している場合は、ルート探索に時間がかかります。

シミュレーション走行をする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

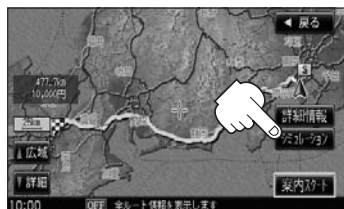
設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをシミュレーション走行と呼びます。)ルート情報表示(☞ F–12)、音声案内(☞ A–16)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート全表示 をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

3 シミュレーション をタッチする。

：シミュレーション走行が開始されます。

4 シミュレーション走行を終えるには シミュレーション中止 をタッチまたは メニュー を押す。

アドバイス

- シミュレーション走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- シミュレーション走行時、交差点拡大をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- シミュレーション走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 細街路の音声案内はシミュレーション走行のみされます。
- 上記手順 3 で 詳細情報 をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
  ☞「現在のルートを全表示する」D–17
- シミュレーション走行中に ▶ をタッチすると、JCT、交差点拡大表示を一時的に消すことができます。もう一度表示したい場合 ◀ をタッチしてください。

ルート案内をストップ／スタートする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。

※一度もルート探索をしていない場合は選択できません。☞「ルート設定の流れ」D–4を参考にルート探索をしてください。

1 メニュー を押す。

2 ルート をタッチする。

：MENU画面が表示されます。

3 ルート案内を停止または開始する。

■ ルート案内を停止する場合

① 案内ストップ をタッチする。

：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。

■ ルート案内を開始する場合

① 案内スタート をタッチする。

：前回ルート探索したルート案内を開始します。

アドバイス

- 現在地表示時に Quick ➡ 案内スタート ／ 案内ストップ をタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。（タッチするたびに表示が切り替わります。）
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

迂回探索をする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

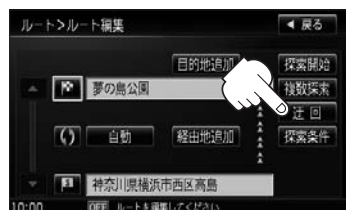
ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

3 迂回 をタッチする。

：迂回距離選択画面が表示されます。

4 迂回距離(1km迂回 ／ 2km迂回 ／ 5km迂回 ／ 10km迂回)を選択する。

：選択した距離の迂回ルートを再探索します。

アドバイス

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

現在のルートを保存する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート(登録ルート)は、再び呼び出すことができます。 「保存したルートの呼び出しをする」D-25

1 **メニュー を押す。**

2 **ルート ➡ ルート保存 をタッチする。**

：“このルートを保存しました。”と表示されます。

3 **現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。**

アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを呼び出したりすると、そのルートは、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 2 で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超えました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。不要なデータを削除してください。
「保存したルートの削除をする」D-26

現在のルートを削除する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

1 **メニュー を押す。**

2 **ルート ➡ ルート削除 をタッチする。**

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルートを削除し、MENU画面に戻ります。

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

保存したルートの呼び出しをする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

保存したルートを呼び出して、ルート探索をすることができます。
※現在ルートを表示している場合は、現在のルートが削除され、呼び出したルートが表示されます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」D–24

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

3 呼び出したいルートをタッチする。

■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

■ ルートがない場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了するとルート全表示画面が表示され 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート探索されます。

保存したルートの削除をする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。「現在のルートを保存する」D–24

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

3 削除したいルートの 🗑 をタッチする。

：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると選択したルートを削除し、登録ルートリスト画面に戻ります。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

SDカードからルート探索をする(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

パソコンを使用してSDカードに保存したルート情報を本機で再探索することができます。

「パソコン連携(いつもNAVI)」A–18

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

1 **▲ (OPEN)を押す。**

：ディスプレイ部が開きます。

2 **SDカード挿入口にSDカードを差し込む。**

「SDカードを入れる／取り出す」B–6をご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

3 **メニュー を押す。**

4 **ルート ➡ SDルート をタッチする。**

：SDカードに保存したルートのファイルリスト画面が表示されます。

※SDカード内に保存したルートファイルが1つの場合は、手順 6 へ進んでください。

5 **確認したいルートが保存されているファイルをタッチする。**

：SDカード内に保存したルートのリストが表示されます。

ファイルリスト画面

SDカードからルート探索をする(2)

6 リストから呼び出したいルートをタッチする。

SDルートリスト画面

■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとルート編集画面を表示します。

■ ルートがない場合

：下記手順 7 へ進んでください。

7 探索開始 ／ 複数探索 を選択し、タッチする。

：ルート探索を開始します。
ルート探索が完了すると全ルートが表示され、 案内スタート をタッチするとルート案内を開始します。

※経由地がある場合は 複数探索 は選択できません。

※ 複数探索 を行った場合は D-9手順 4 、 5 をご覧ください。

アドバイス

- 手順 7 でルート探索をする場合、本機に設定している探索条件を基にルート探索を行なうため、パソコン(指定Webサイト)上でのルート探索結果と異なります。「ルート探索条件の設定をする」F-45
- ＊印…上記手順 7 でルート探索する場合、指定のWebサイト(いつもNAVI)で出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(指定のWebサイト(いつもNAVI)で指定した出発地にはなりません。)
- 探索したルートは本機に保存することができます。(最大20件)「現在のルートを保存する」D-24
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」F-44
- SDカードを挿入していない場合は、SDカードを挿入してください。
- SDカード内にデータ(リスト)がない場合は手順 4 でSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されるので、地点をSDカードに書き込みしてください。書き込みをする前に半角で "DRIVE" という名前のフォルダを作成後、DRIVEフォルダにダウンロードしてください。
  「SDカードを入れる／取り出す」B-6
  「パソコン連携(いつもNAVI)」A-18

再探索をする

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索(リルート)するように初期設定されていますが(☞F-45)、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。

再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

※この機能を使うにはあらかじめQuick MENUに 再探索 を設定しておく必要があります。
☞「Quick MENUの設定をする」B-23

現在地表示画面で、 Quick をタッチする。

：Quick MENUが表示されます。

2

再探索 をタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。

3

探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道路優先)を選び、タッチする。

※探索を中止する場合は、 戻る をタッチしてください。

アドバイス

- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を登録している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。